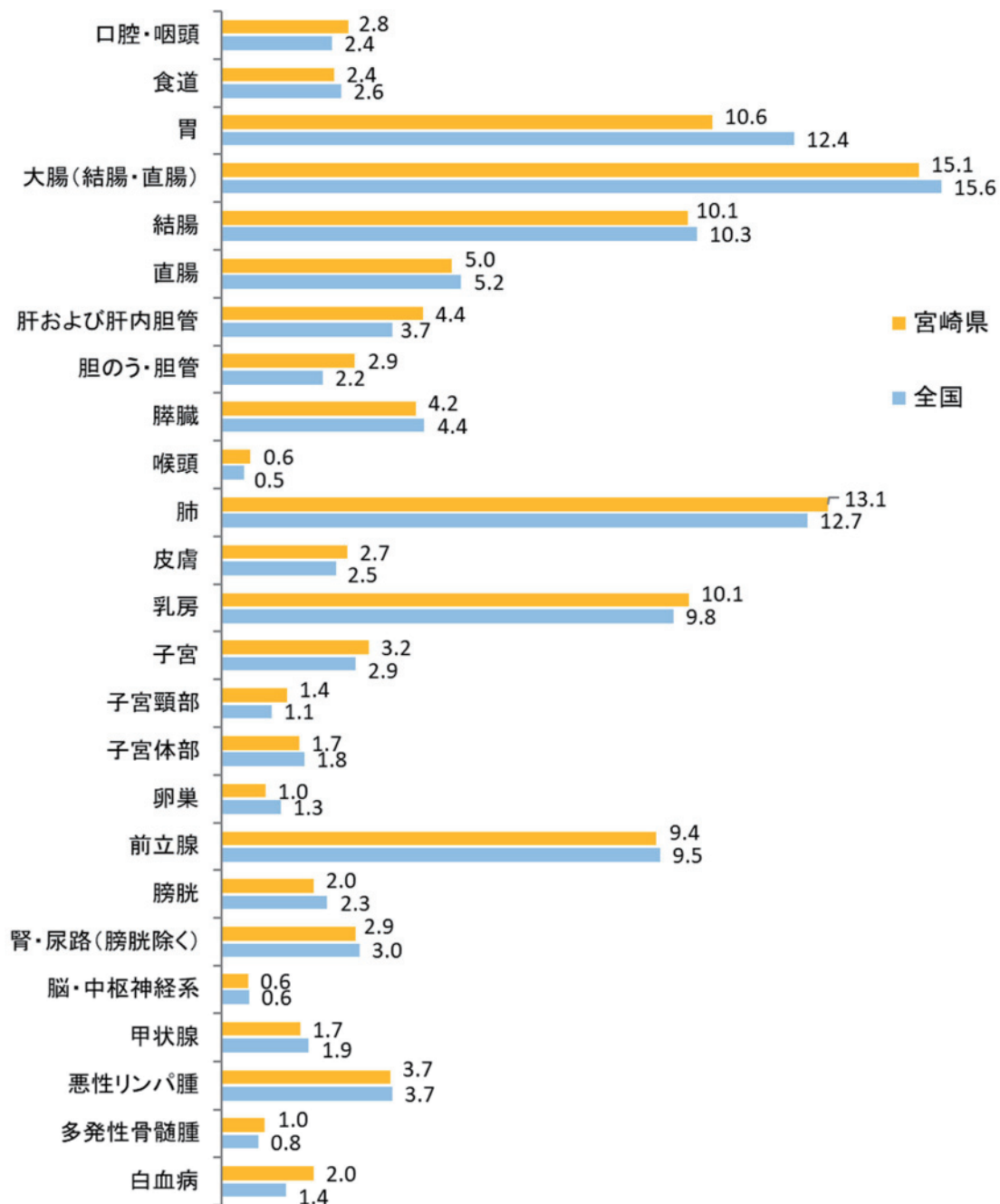


## 4 2019 年がん罹患の概要

(1) 全体の概要 : 表 1-A (上皮内がんを除く) から作成

2019 年宮崎県の罹患数は、男性 4,801 件、女性 3,823 件の、合計 8,624 件であった。総計より、最も多いがんの発生部位は大腸(結腸・直腸)であり 15.1%、肺 13.1%、胃 10.6% と続く。男性では、前立腺 16.9%、大腸(結腸・直腸) 15.6%、肺 15.3%、胃 13.6% であり、女性では、乳房 22.7%、大腸(結腸・直腸) 14.5%、肺 10.4%、子宮 7.2% であった。

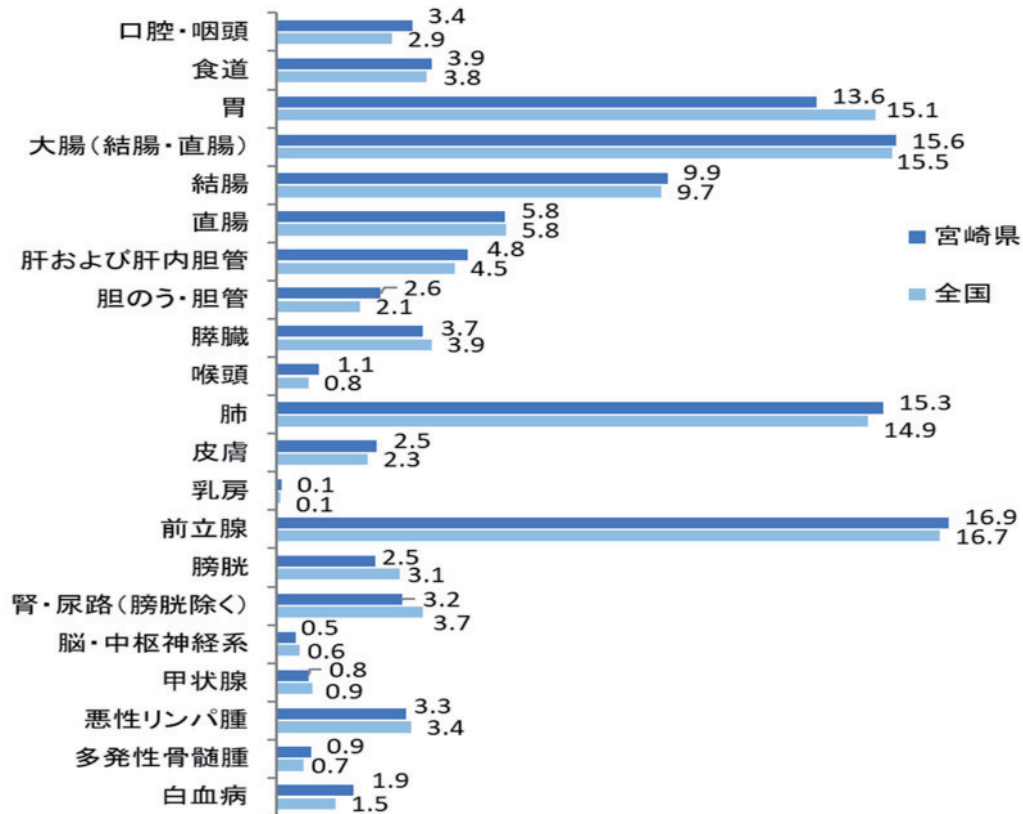
2019年罹患部位別割合(%) (全国比較)



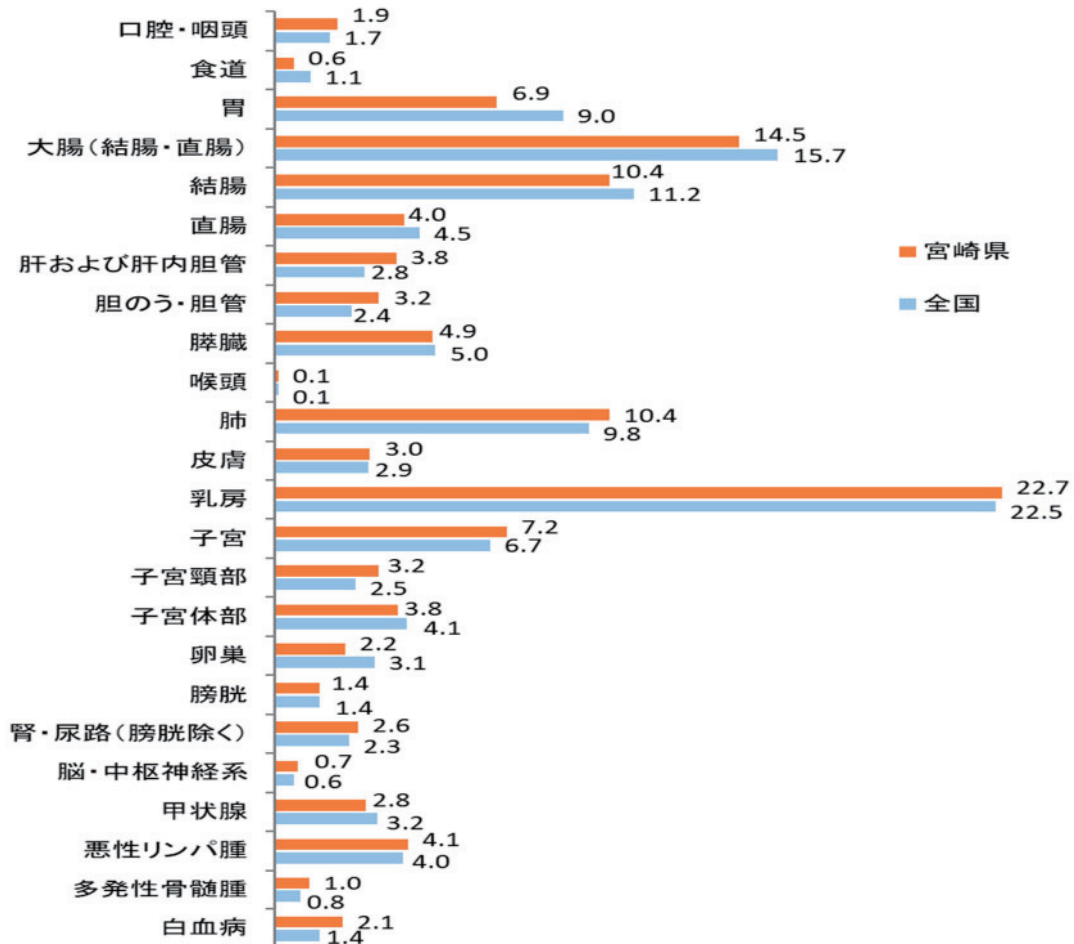
出典：全国値は、

厚生労働省健康局がん・疾病対策課「全国がん登録 罹患数・率報告 2019 年」から抜粋

### 男性 罹患部位割合(%) (全国比較)



### 女性 罹患部位割合(%) (全国比較)

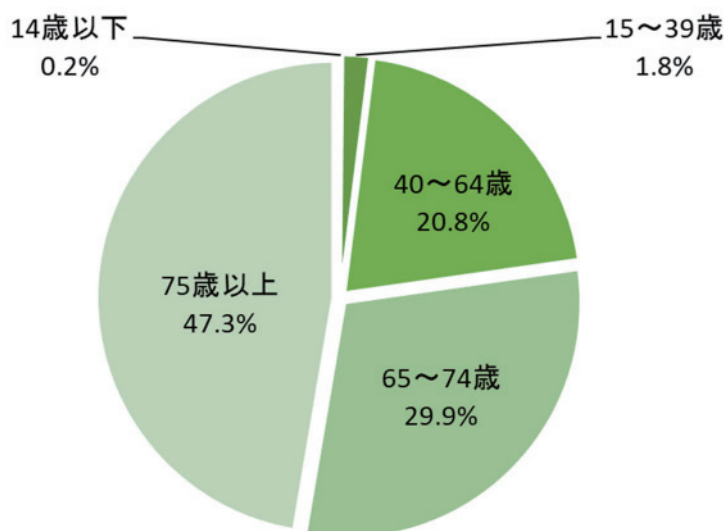


(2) 年齢階級別に見たがんの罹患 : 表 2-A (上皮内がんを除く) から作成

年齢階級別にみると、75歳以上の割合は全体では47.3%、男性47.3%、女性47.4%であった。働き盛りの40~64歳では、男性16.3%、女性26.3%を占めている。男性の60歳から前立腺癌、女性の40歳から乳癌の罹患数がそれぞれ増加している。

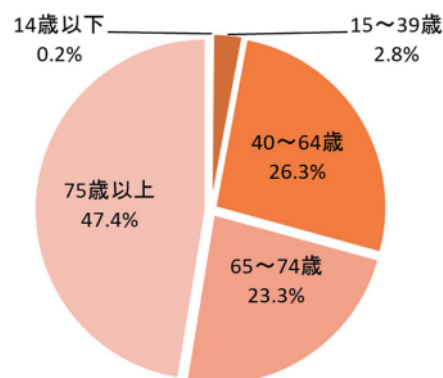
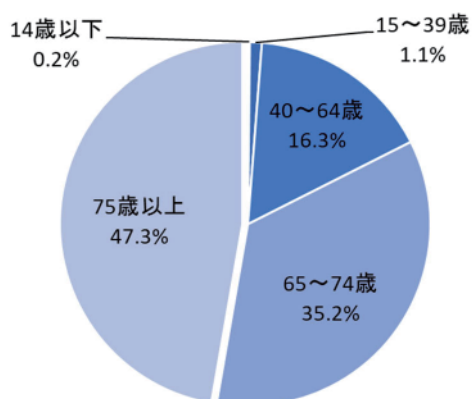
大腸がんは45歳から、また肺がんは55歳から徐々に多くなっている。

全体(件)	
14歳以下	14
15~39歳	157
40~64歳	1,790
65~74歳	2,581
75歳以上	4,082
合計	8,624



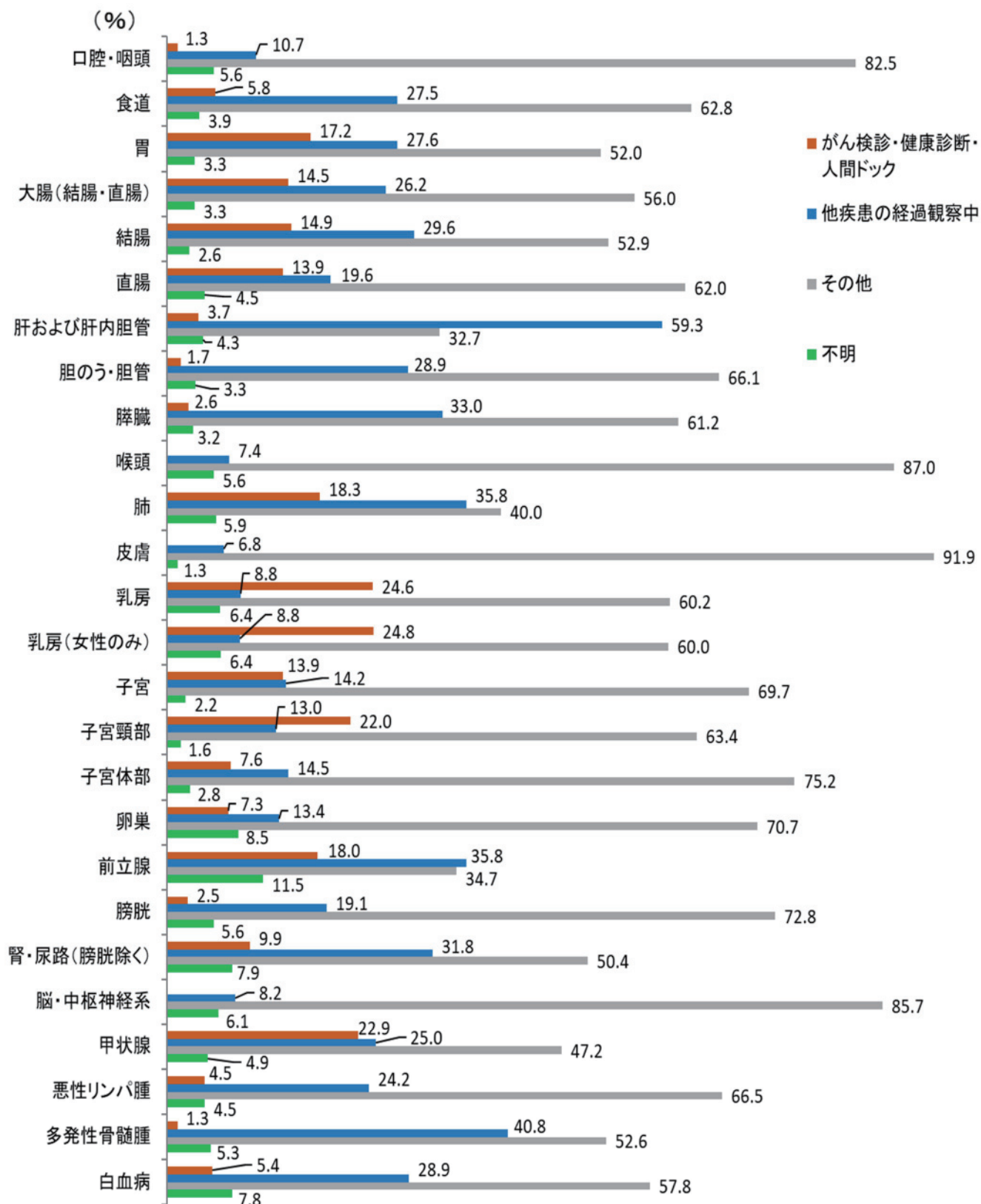
男性(件)	
14歳以下	8
15~39歳	51
40~64歳	783
65~74歳	1,690
75歳以上	2,269
合計	4,801

女性(件)	
14歳以下	6
15~39歳	106
40~64歳	1,007
65~74歳	891
75歳以上	1,813
合計	3,823



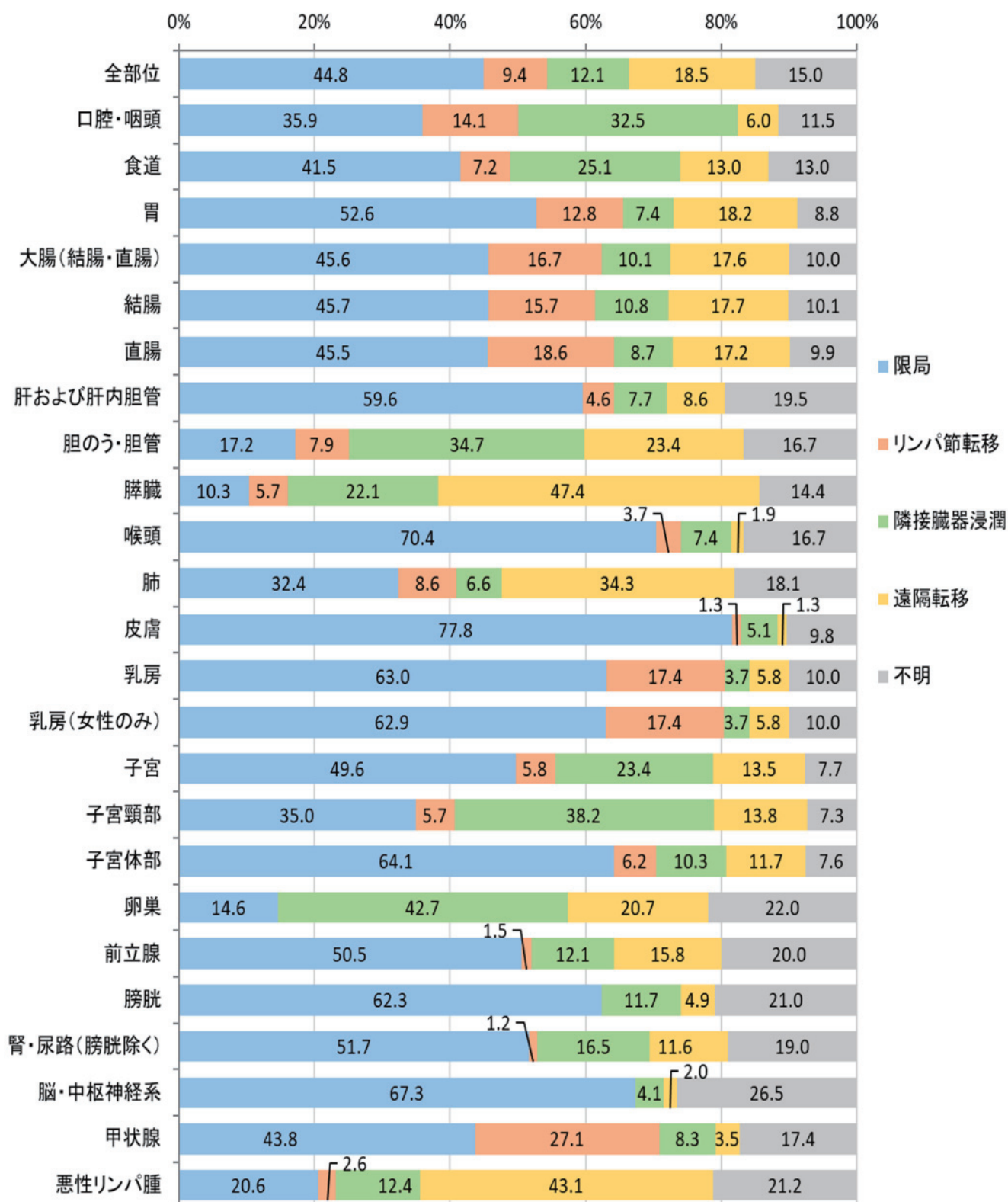
(3) 発見経緯から見たがんの罹患 : 表 4-A (上皮内がんを除く) から作成

部位別に見ると、肝および肝内胆管、前立腺は「他疾患の経過観察中」に発見された割合が高く、その他の部位は「その他 (症状受診含む)」で発見された割合が高かった。また、「がん検診・健康診断・人間ドック」を見ると乳房、子宮頸部の発見割合が高かった。



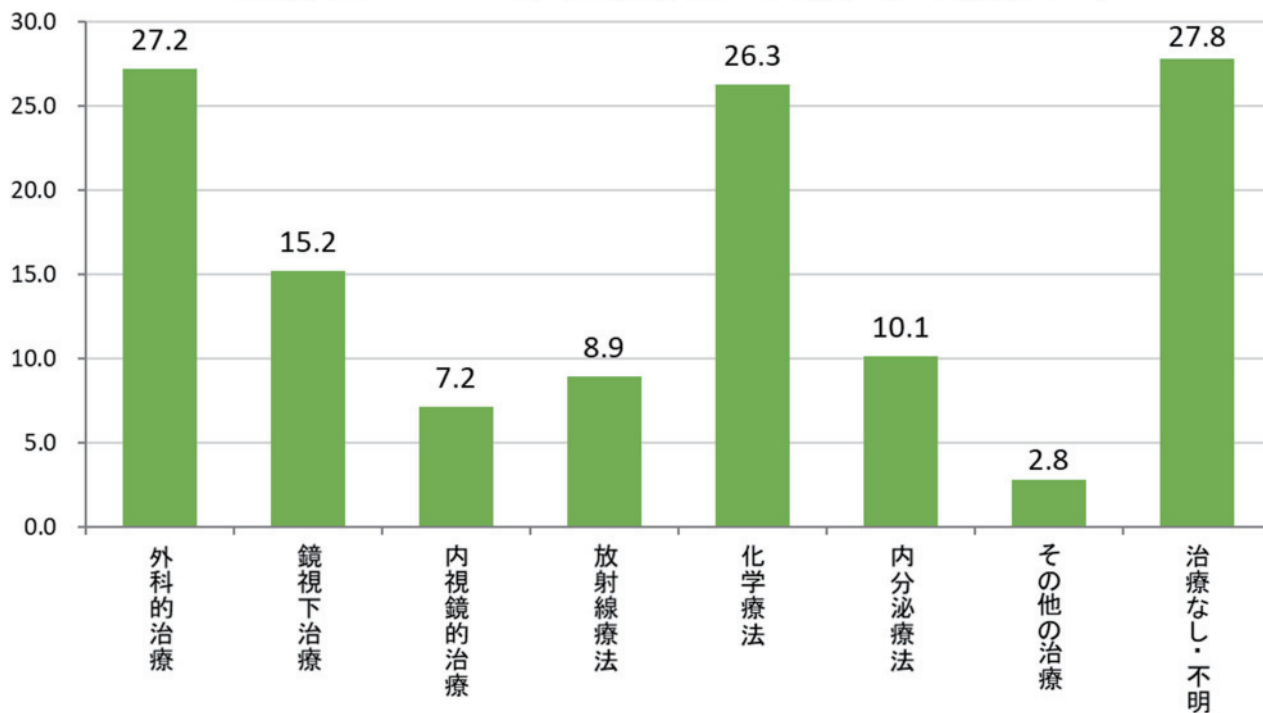
(4) 進展度分布から見たがんの罹患 : 表 5-1-A (上皮内がんを除く) から作成

全部位の進展度を見ると、限局 44.8%、リンパ節転移 9.4%、隣接臓器浸潤 12.1%、遠隔転移 18.5%、不明 15.0%であった。限局の割合が 50.0%以上の部位は、胃、肝および肝内胆管、喉頭、皮膚、乳房、子宮体部、前立腺、膀胱、腎・尿路(膀胱を除く)および脳・中枢神経系であった。



(5) 初回治療内容から見たがんの罹患：表 6-A（上皮内がんを除く）表 6-B（含む）から作成  
 上皮内がんを除く全部位の初回治療内容を見ると、外科的 27.2%、鏡視下 15.2%、内視鏡的 7.2%であった。また、放射線 8.9%、化学 26.3%、内分泌 10.1%であった。  
 上皮内がんを除く、含むともにそれぞれ重複を含むため合計は 100%にはならない。

全部位 8326件(上皮内がんを除く)の割合(%)



全部位 9100件(上皮内がんを含む)の割合(%)

